

受験生はいよいよ入試に向けて集中できる環境が整ってきました。来年受験生になる皆さんも、そろそろ将来の夢や進路を考えておきたい時期ですね。他の学年の皆さんも、自分の目標に向けて何をすべきかしっかりと計画を立てて、京進の個別指導スクール・ワンの先生と一緒に学習を進めていきましょう。



入試は朝からあります！！

夜遅くまで勉強して寝不足や体調不良になってしまつては、元も子ありません！『夜型』になっている人は生活リズムを『朝型』に整えて規則正しい生活を心掛け、**入試本番でしっかり実力が発揮できるようにしましょう。**

『夜型』ではなく、
『朝型』に！



朝食をしっかり
食べていますか？



脳の働きを活発にし勉強に集中するためには「ブドウ糖」が必要です。朝食には、**脳のエネルギーになる炭水化物(パンやごはん)**を必ず摂取しましょう。食欲が湧かない人は、**脳の活動を促す糖類(ゼリーや果物など)**で糖質と水分を補給。できれば栄養バランスにも気を付けて！

勉強する時の
姿勢にも注意！



背筋を伸ばした姿勢でいる時は、自然と「やる気」「自信」「前向きさ」が出てきます。逆に背中を丸めた姿勢でいると、呼吸も浅くなり、いつのまにか「自信がもてない」ネガティブな状態で勉強をしていることになるのです。勉強の時だけでなく、**普段から背筋を伸ばすよう心掛けましょう！**

大学入試 併願校を決める 3つのポイント



1 第一志望校を明確にする

まずは目標とする第一志望の大学・学部・学科を決めましょう。第一志望校を決定する際に基準となった条件の中で併願校を検討します。入試科目が第一志望校と一致している、過去問を解いてみた際の得点率が高い(問題傾向が自分に合っている)、出願方式が複数あるなど、合格可能性を高められる学校を選びます。

2 入試日程から考えよう！

受験を予定している大学の入試日が重ならないようにスケジュールを立てましょう。その際、無理な受験スケジュールではなく、連続で受験する場合は、往復の距離や試験の実施時間帯などをふまえて、計画を立てましょう。また、**最初に第一志望校を受験するのではなく、早い時期に合格可能性の高い大学を受験して入試本番の雰囲気慣れをうけて、第一志望校に臨めるようなスケジュールを組むとよいでしょう。**

入試日だけでなく、合格発表日や手続き日、入金の日などを考慮しておきましょう。

3 難易度から考えよう！

併願校は模試の成績などの客観的データを参考に、合格可能性の比較的高い大学も選ぶようにしましょう。また、同じ大学でも学部・学科によっては合格偏差値に差がありますので、併願校は学部・学科も含めて視野を広げて検討しましょう。

■ 入試問題<過去問>を『正しく』活用しよう!

受験生のみなさん、
いよいよ
入試間近です!

POINT:1 入試問題を解く → まずは「慣らし運転」!

自分の志望校よりも1~2段階、簡単な入試問題からスタートします。
最初は正答率や制限時間にこだわりすぎず、入試問題に慣れることが大切です。

POINT:2 最低でも「3年分」→ 後半には時間を計って!

第一志望校の入試問題は、最低でも3年分は解きましょう。1~2年分では傾向が正しく掴めません。また、実際の制限時間内に解くと、どこに時間が掛かりすぎるのか? など、課題が見えてきます。

POINT:3 『本命』志望校の過去問 → 最低でも「2回」!

10・11月の時点で一度解いてみて、分からない問題はすぐに先生に質問し、解説してもらいましょう! 学校の学習範囲が全部終了するのを待っていると、直前まで入試問題に手がつけられません!! 志望校の入試問題は最低3年分~5年分、2回ずつ解けるように計画を立てましょう。

!!

学校の先生や塾の先生から、「入試問題(過去問)をしっかり解くように!!」と言われる通り、**受験生の過去問攻略は必須です!**

そして一番大切なのは、**過去問を『正しく』活用し、『自信を持って入試に臨む』こと**です!

ハイ...

※入試問題の選び方や開始時期などについては、担当の先生に相談して勉強の計画を立てましょう。

過去問対策を
自分一人でするのが
不安な人にオススメ!!

受験生(小6・中3・高3)対象の入試対策講座、 『実戦トライアル』・『入試直前講座』も好評受付中!

最初は少し時間が
オーバーしても、最後まで
問題を解いてみよう!

『本番の入試』と思って、
緊張感を持って解こう!

間違えた問題は
必ず解き直すこと!

過去問は難しい。
でも受験勉強の
強い味方!

慣れてきたら、
『制限時間マイナス10分』
で解いてみよう!

入試に向けて、 実力を強化。

※詳細はお通いの教室にご確認ください。

どんなことを
するの?

テスト + 1対1
解説授業

【小6】テスト40分 + 解説授業40分(1回80分)
【中3】テスト40分 + 解説授業40分(1回80分)
【高3】テスト80分 + 解説授業80分(1回160分)

時間内に答案を仕上げる
特訓を実施します。

▶ 『優先順位をつけて解く』
『時間内に解ききる』
練習を行います。

解説授業は、
完全1対1の個別指導で。

▶ テストで分からなかった
問題への理解を深め、
自信につなげます。

ひとりひとりの
受験校に合わせた対策。

▶ 高3生は受験校の
学校推薦型選抜に向けた
テストも準備します。

中3生はリスニング
対策もバッチリ。

▶ 公立高校入試でも
重要なリスニング。
しっかり対策を行います。